

## 言語通級指導教室「自立活動」学習指導案

児 童  
指導者

## 伝達意図をもたせ相手意識を高める学習活動の工夫

## 1 単元名 ことばをたのしもう②ーことばのプレゼントー

## 2 児童の実態

本児は、昨年11月にことばの相談会を経て、今年度4月より週2回ことばの教室に通級している。4月当初、気になることがあると急に歩き回ったり、こだわりが強くて、やり始めた1つの事しか目に入らなくなったりして、集団行動に合わせられないことが多かった。

しかし、学校生活に慣れ周囲の状況把握ができてくると、しだいに自分がどうふるまえばよいのかがわかって、落ち着いて学習に参加するようになってきた。本児自身も学校生活の中で「よい行いをしたい、よい子になりたい」という願いを持つようになった。

一方、友達と進んで関わろうという意識はまだ弱く、休み時間などは一人で好きなことに夢中で取り組むという過ごし方が多い。

発音面では、軽度の側音化構音で、キ・ギとその拗音で中舌の盛り上がりが見られることがある。構音器官の協調運動がなめらかに行えないことがあるが、練習への意欲はあるので、その都度ゆっくり慎重に口や舌を動かそうと取り組み、少しずつできるようになってきている。

言語発達面では、語彙が豊富で発話意欲もあり、活発に話すことができる。また、教科学習の内容理解に優れ、本をよく読むので知識が豊富である。一方、そう言ったら相手はどんな気持ちになるのかをあまり考えずにことばを発してしまうところがあり、相手の気持ちに無頓着である。

コミュニケーションの課題をとらえる視点に沿って本児の実態をみると、

- ① 家族や先生等大人との関わりは円滑で安定している。一人遊びを好み、学級の友達と自分から関わるようになったのは2学期中頃からで、他児との協同化にはまだ関心が向いていない。周りの状況を捉えて我慢したり、自分の行動を調整したりすることができるようになってきている。  
(「関係性の発達」)
- ② 事柄の理解や記憶に優れているが、相手の気持ちへの関心が薄く、気持ちの理解ができていないことが多い。  
(「認知の発達」)
- ③ 発話量が多く、難しい言葉でもどンドン覚えて使おうとしている。文字の読み書きもよくできる。発話量のわりに伝達意図や相手意識が弱い。  
(「伝達手段の発達」)
- ④ 急にそわそわしたり体を動かしたりし始めることがあるが、我慢しようと調節の努力をしていることが感じられる。  
(「情緒の安定・調節」)

これらのことから、本児は、伝達手段であることばを知識としては多くもっていて関係性を広げ始めている段階であり、コミュニケーション課題は、相手意識をもってことばを使えるようになることと捉えた。

研究内容 1

## 3 単元について

前単元「ことばをたのしもう①」では、いろいろな詩や絵本をテキストとして、ことばの意味、リズム、叙述の仕方や展開のおもしろさを音読を通して味わい、楽しむことができた。

本単元「ことばをたのしもう②ーことばのプレゼントー」では、これまでのことばの学習で見つけた「いいことば」を紙に書いてプレゼントとして人に贈る、という活動を設定する。「人にプレゼントする」という設定は本児のコミュニケーション課題である相手意識に直接働きかけることになると考えた。

研究内容 1

「いいことば」とは、好きなことば、楽しいことば、元気が出ることば、美しいことば等であり、本児がこれまで持っている語彙を振り返って整理し、意味づける学習になる。さらに、贈る人を考えていくことで人との関わりを感じ、自分が感じた楽しさを相手にも感じてもらえたら嬉しいという気持ちの共有化へ導いていく。

#### 4 指導に当たって

指導に当たっては、本児と指導者とのレポートを土台に、本児の情緒が安定し安心して学習に向き合える雰囲気づくりに留意する。

- ① 単元のみとおす段階では、まず、いいことばとはどんなことばかを考え、いいことばのイメージを広げる話し合いをし、その後のいいことば探しで、自分の知っていることばやこれまでの学習で出会ったことばを整理し、意味づける学習をする。

その上で、「ことばのプレゼント」の計画をたてる。「誰に」「どんな形で」「どんな方法で」贈るのか見通しが持てるようにさせたい。

- ② ふかめる段階では、相手を考えてことばを選び、相手が喜んでくれることを想像しながらカードを書くようにして、相手意識を高めるようにする。さらに、プレゼントした相手に一言感想をもらうカードを用意し、渡したら印と簡単な感想をもらうようにする。家族、先生、同年代の友達と相手との関係が広がっても関心が持続するようにことばかけで支援をしたい。
- ③ まとめる段階では、プレゼントを渡したときのことをカードをもとに振り返り、気持ちが伝わることの楽しさを感じられるようにしたい。

#### 5 単元の指導目標

- ・ 親しい人に「ことばのプレゼント」をする活動を通して、ことばの良さを理解し、自分の思いを人に伝え共有化しようとする気持ちをもつことができる。
- ・ 母音練習や構音器官の機能訓練を通して、正しく発音しようとする態度をもつことができる。

#### 6 指導計画

(7時間)

段 階	学 習 課 題	学 習 内 容	時間
みとおす	○いいことばさがしをしよう。	・いいことばのイメージをふくらませる。 好きなことば・楽しいことば・元気が出ることば・うれしくなることば ・これまでの学習を想起し「いいことば」をたくさん探し、カードに書き出す。	1
	○「ことばのプレゼント」の計画をたてよう。	・「ことばのプレゼント」について考える。 ・「どんな相手に」「どんな方法で」贈るか、イメージを持つ。 ・贈りたい相手を書き出して、表にする。	2
ふかめる	○〈ことばのプレゼント〉おkaaさんへおくることばをカードにかこう。 ○・・・せんせいへおくることばをカードにかこう。 ○友達・・・さんへおくることばをカードにかこう。	・相手を考えて、贈ることばを選ぶ。 ・選んだことばをカード用紙に書き、ラッピングする。  ・手渡し方、渡すときにいうことばを話し合う。	3 本時 2時
まとめる	○「ことばのプレゼント」はうまくいったか、ふりかえろう。	・渡したときの相手の反応、カードの感想等から、プレゼントは喜んでもらえたか振り返る。	1

7 本時の指導

(1) ねらい

- ◎・・・先生に贈ることばを考え、プレゼント用カードに書くことができる。
- 構音器官の機能訓練や母音練習を通して、よい話し方をしようとする態度を育てる。

(2) 展開

段階	学 習 活 動	教師の関わり	評 価	達成できない ときの手立て
みとおす 5	1. あいさつをする。 2. 発声うがいをする。 3. 本時の学習を見通し学習のめあてを持つ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                         〈ことばのプレゼント2〉                          □□せんせいにおくることばをカードにかこう。                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場の移動を考え、いつもの流れでうがいを行うよう促す。</li> <li>・学習活動の流れをつかみ全体を見通すことで気持ちを安定させて取り組むことができるようにする。研究内容2</li> </ul>		
ふかめる 35	4. 母音練習をする。 5. ウイウイ体操をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口形、舌位に着目するよう促し、意識して動かせるようにする。</li> <li>・メトロノームの速さに合わせるように注意を促す。♪=80、♪=90、♪=100</li> </ul>	口形、速さ、舌位に気を付けて練習することができたか。	★聴覚だけでなく視覚も使うようにさせる。
	6. 贈ることばを選びカードに書く。 (1) プレゼントすることばを考える。 ・いくつかの案を出し、比べて一つに絞る。 (2) 選んだことばをカードに書く。 (3) 選んだ言葉について話し合う。 ・書いたことばを声に出して読む。 ・ことばに込める思いを話す。 (4) 手渡し方、渡すときにいうことばを確かめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考える手がかりとして                             <ul style="list-style-type: none"> <li>①相手が喜んでくれるか</li> <li>②分かりやすいか</li> <li>③書くのに時間がかかり過ぎないかを示す。</li> </ul> </li> <li>・宛名、差出人（・・・さんへ、・・・より）を書き添えさせ改めて相手意識を確認する。</li> <li>・選んだわけやそのことばの良い所等話し合う観点を示し、ことばに込める思いがふくらむようにする。</li> <li>・受け取った相手に感想をもらう評価カードを用意する。研究内容2</li> </ul>	贈ることばを選び、カードに書くことができたか。	★自分が言われて嬉しいことばはないか、考えさせる。  ★本児が思いを言えない時は、指導者が感想として良さを伝え、良いことばを選んだことを納得できるようにさせる。
まとめる 5	5 本時のまとめをし、次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のめあてについて振り返り、感想を話すようにさせる。</li> </ul>		